

日雇い派遣調査の特徴とまとめ

2008年10月5日 全国青年大集会実行委員会

調査の概要

全国青年大集会実行委員会では、若者の貧困と使い捨てのもとになっている「日雇い派遣」で働く若者について実態調査にとりくみました。

調査は、実際に「日雇い派遣」に登録して働いた人に調査シートを記入してもらい、集計したものです。東京、千葉、神奈川、大阪、京都などの都市部を中心に、派遣会社16社・19営業所から、113種類の現場に派遣された事例をまとめました。あわせて日雇い体験者からの聞き取りをまとめました。

1. 低賃金、払われない交通費が、ギリギリの生活においこんでいる

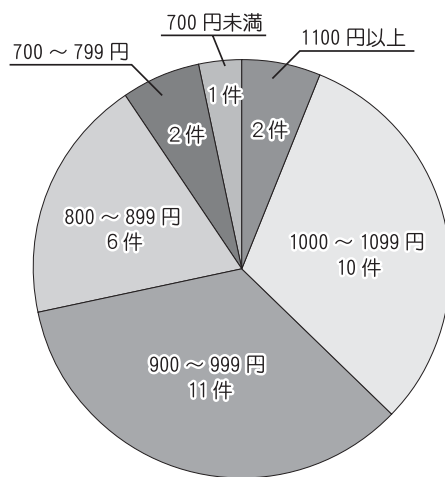
■低い給与、最低賃金スレスレの会社も

実態調査で明らかになったことの第一は、日雇い派遣で働く若者が、低賃金で、ギリギリの生活をいられていることです。調査の結果、時給平均は917円、日給平均で7357円でした。また、日給は多くが6000円～8000円前後であり、日給と労働時間から換算すると、時給について無回答だった人についても、最低賃金スレスレの低賃金を強いている会社も少なくありませんでした。また、「給与がふりこまれていないことがあった」「給与から安全協力費という名目で400円引かれていた」などの声もあり、給与と明細をもらえないところも多くありました。

■交通費が払われない

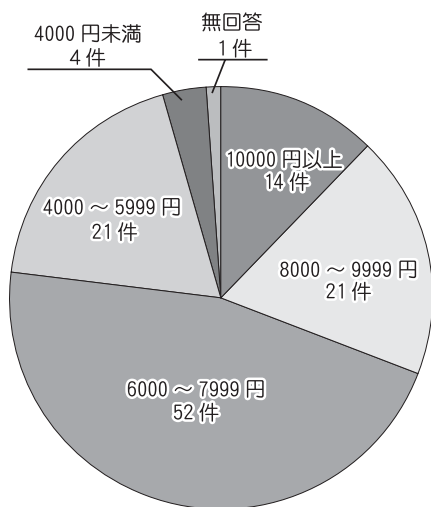
また、交通費の支払いが不十分なことも、この低賃金にさらに追い打ちをかけています。全額支給は約3分の1にとどまり、全額未支給が3割を超えています。113ケースでかかった交通費の平均996円に対して、支払われた交通費の平均額は553円になっており、平均の支給率が57%となっています。「交通費は2000円以上かかる場合じゃないと支給されない。交通費を浮かせるために、自宅から1時間くらいのところまでは自転車で行くようにしている」という人もいました。

時給



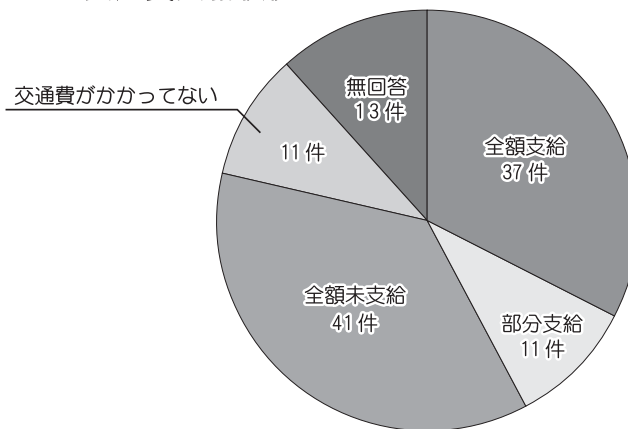
※同じ派遣会社でも行く現場によって給与は違うため、全ケースを集計した。
※なお81件が「無回答」。時給ではなく日給計算で給与を支払っている会社については「無回答」にしている。

日給



※途中で帰らされた場合など、一日に3時間、4時間しか入れなかった場合も含む。

交通費支給状況



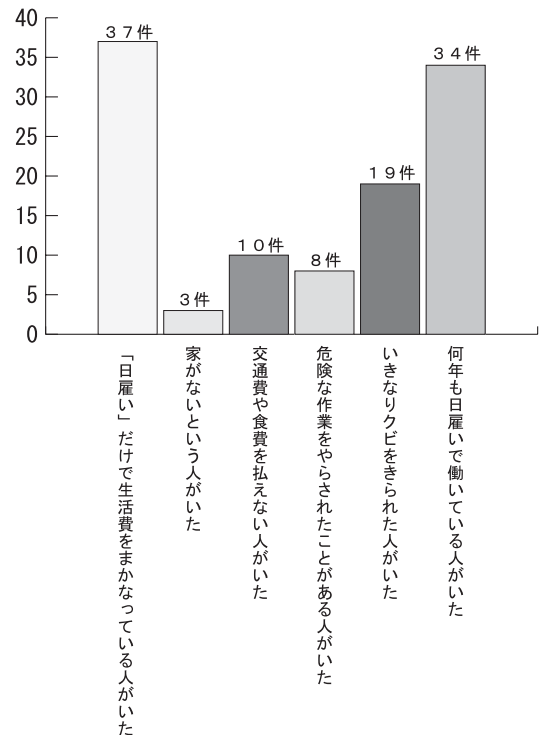
※なお、かかった交通費の平均は996円、そのうち支払われた交通費の平均は553円、支給率は57%となっている。

■ギリギリの生活においこまれている

また、現場で出会ったスタッフの状況について、「いま家がないという人がいた」という回答が3件、「交通費や食費を払えない人がいた」が10件、「いきなりクビをきられた人がいた」が19件、「日雇い派遣だけで生活費をまかなっている人がいた」が37件（33%）にのぼっています。「山形からでてきて所持金が400円の人に会った。友人の家に泊めてもらっているけど交通費も払えないから新宿から練馬まで（約8km）歩いて帰ると言っていた」「食費がないのでお昼は食パン2枚のみという人がいた」などの声もよせられ、少なくない人が、低賃金といつクビをきられるかわからない不安定な仕事のために、人間としての当たり前の生活すらできなくなっていることがうかがえます。

調査に協力していただいた方の中に、「いま所持金が700円。電気、水道、ガス全部滞納していて、止められる寸前」「交通費自腹の仕事はつらいし、損な仕事ばかり入っては生活ができないので、複数の会社に登録して、得な現場を選ぶようにしている」と述べていた方もいます。

現場で出会ったスタッフ



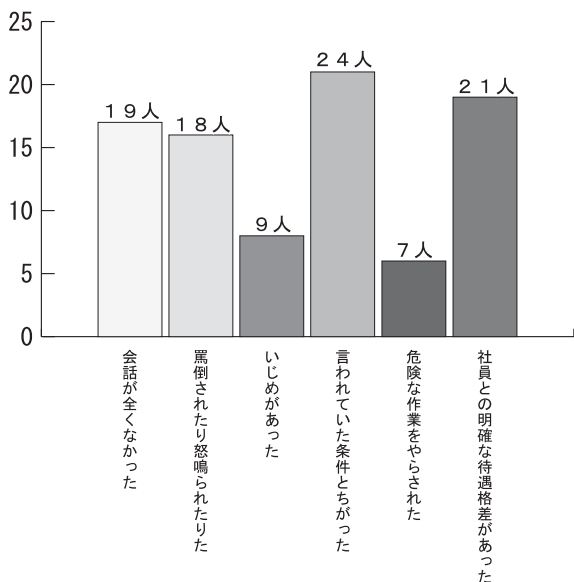
2. “モノ扱い、——人間性をふみにじる働かせ方

■人間を人間としてあつかっていない働かせ方

第二は、人間をモノ扱いし、人間性をふみにじる働かせ方であるということです。

調査結果では、「危険な作業をやらされた」が7件（6%）、「罵倒されたり怒鳴られたりした」が18件（16%）など、安全や人間性を傷つけるような働き方がひろくあることがうかがえます。「言われていた条件とちがった」も24件（21%）にのぼっています。具体的な声として、「引っ越しは最悪。4階まですごい重い荷物を走るようにして運ばされ、歩いていると怒鳴られる。なぐられそうになったこともある」（30代男性）「40度を超える室内での作業から冷蔵庫への移動などで体調を悪くする人が続出した」（30代女性）など、人間を人間としてあつかっていない深刻な実態がよせられました。

仕事内容、仕事の雰囲気



■差別的待遇とその日限りの人間関係

労働条件や仕事内容についてきちんと説明されていなかったり、「社員との明確な待遇の差があった」が21件（19%）となっているように、「社員は使える食堂や喫煙所を使わせない」「ロッカーがない」「社員は休憩があるのに派遣には休憩がない」など、差別的待遇をされた人も多数います。

「会話がまったくなかった」と答えたのが19件（17%）になっていますが、人間関係もその日限り、もしくはきわめて短い関係となるために、信頼をきずくこともできず、不安やストレスをかかえ、人間としての社会性を育むことができません。「名前によべられない」「ゴミ箱の場所を聞いただけで怒られた」「作業時も明確な指示を出してくれず、やり方を教えられないまま仕事に入り、ミスると怒鳴ってくる」という声もありました。

3. 明日の予定をたてられず、自分の将来も見通せない

第三は、明日仕事があるかどうか分からないため、次の日のスケジュールもたてられない、そして低賃金、非人間的労働によって傷つけられながら、自分の将来も見通せないということです。

現場で出会ったスタッフについて、「何年も日雇いで働いている人がいた」は34件（30%）となっています。調査では実際に1年、2年と続けている人にも多く出会いました。「これでは見通しがないから。半年先に何しているかわからない」（20代男性）「当日や前日に急に休みになったり、仕事の終了時間が当日に決まって、稼ぎが安定しなくて計画がたたない。社員に気に入られない人は『1ヵ月休んでください』とか、『明日から来なくていいです』と言われる」など、明日の予定も決まらず、その先の見通しももてないという声が多数寄せられました。

また、そこまで深刻な生活をしているわけではないという人も、「ずっとこのままの働き方では不安」「抜け出さなきゃいけないけど、もう意欲がわいてこない」など、漠然とした不安、働く意欲をもてないほど心を傷つけられている姿もありました。

■日雇い派遣は“選ばされた働き方、

以上、大きく3つの特徴が見えてきたと同時に、調査にとりくむなかで「次の仕事が見つかるまでのつなぎだし、不満はない」「自分には資格もスキルもないから、働けてるだけまだまし」などの声に何度もあたりました。「日雇い派遣は必要」という人も多くいました。

しかし、これらの声を表面的にとらえただけでは、その背景にある願いは見えてきません。私たちが、日雇い派遣で働く人の気持ちによりそいながら、これまでの生活や今後の見通し、働き方や給与について丁寧に聞いていくと、それは“望んだ働き方、ではなく“選ばされた働き方、だということが見えてきました。

たとえば、「病気になって、一月15日までしか働けないので日雇いで働くしかない」「前の会社の働き方に耐えられなくなって辞めたので、今はつなぎで日雇い派遣」など、正社員あるいはより安定した働き方をしていたにもかかわらず、病気や解雇などによって、とりあえず日雇い派遣で働くしかなくなる場所におこまれていました。安定した雇用に就くことができず、他に生活を支えるものもない。そのなかで、仕方なく“選ばされた選択、であったというのが、私たちの実感です。

■労働者派遣法の抜本改正が必要

以上の点から、わたしたちは「日雇い派遣」は禁止し、そこで働く青年の実態をただちに改善するために、「日雇い」にかわる安定した仕事を保障しなければならないと考えます。また、「低賃金」「人間性をふみにじる働かせ方」「いつクビになるかわからない不安」などの特徴は、日雇い派遣だけでなく、登録型派遣で働く若者全体に共通している特徴でもあります。こんどの国会で派遣法の改正が論議される予定でしたが、その改正が部分的な手直しではなく、この実態を本格的に解決するための実りある抜本改正となるように強くもともとめたいと思います。

以上

調査でよせられた実態（抜粋）

■給与、交通費などに関する実態

- ・指定銀行に口座をつくらないと300円給与から引かれる。給与明細をもらおうと給与から80円引かれる。（倉庫作業、28歳女性）
- ・交通費が時給を超えちゃうのに、一銭も出ないのがなんとも…。（倉庫整理、20代女性）
- ・作業日の前日に事故にあい、鎖骨をおってしまった。当日現場に行くことができない旨を説明したところ、「ケガをしてもかまわないから来い！」と言われ、でも「行ったところで仕事ができない」と伝えると、こんどは「とにかく来い！」としか言いませんでした。そしたら、後日、キャンセル料を請求されました。そこでは仕事は前日にいきなり入るのに、キャンセルは3日前までに言わないとキャンセル料をとります。（引越し、22歳男性）
- ・食費がないのでお昼は食パン2枚のみという人がいました。（倉庫作業・インクカートリッジの袋とじ、20代女性）

■作業内容や仕事時の雰囲気、働かせ方に関する実態

- ・引越しは最悪。4階まですごい重い荷物を走るようにして運ばされ、歩いていると怒鳴られる。なぐられそうになったこともある。（引越し作業、30代男性）

- ・社員やアルバイト・パートは2時間に一回休みがあるのに、派遣はない。(販売スタッフ・洋服の整理、20代女性)
- ・チョコレートの試食と言われていたのに、ボージョレスーパーを売れと言われてた。(販売スタッフ、20代女性)
- ・担当のドライバーにその日の動きを聞いても答えてくれない。聞いたら不機嫌そうに抽象的に答え、作業時も明確な指示を出してくれず、やり方を教えられないまま仕事に入り、ミスと怒鳴ってくる。その日、どのドライバーに付くかでその日の運命が決まる仕事。おそらく普段は一人の世界で仕事をしている方達なのだろう。マイペースでやってきた中にその日毎に何も知らない派遣が乗ってきて大変なのだと思う。(引越し・配送助手、20代男性)
- ・派遣作業員にしかさせない重労働があった。担当の社員が気に入らない人間は次々とクビにしていった。集合場所から現地への移動は車を持っている派遣労働者に事務所から頼んでいた。しかも運転をした者に路駐をさせたくえ、何の手当もださなかった。(倉庫整理、34歳女性)
- ・40度を超える室内での作業から冷蔵庫への移動などで体調が悪くしたり、あせも、かぶれや湿疹に苦しんだ。派遣作業員は待遇を軽んじられていた。この現場はより安い派遣会社にきりかえたため仕事はなくなった。(湯葉の製造・包装作業、34歳女性)
- ・一度も名前ではばれなかった。社員と昼食をとる場所も弁当もちがった。社員は店の中で。お手伝いなどは外で、テントを張った場所で。着ているもので派遣かパートかわかる。(薬品販売スタッフ、23歳男性)
- ・ゴミ箱の場所を聞いてだけで怒られた。社員食堂の人が明らかに自社スタッフと差別していた。(販売スタッフ・試食、25歳女性)

■仕事の有無や解雇、契約に関する実態

- ・使えなくなったらすぐ帰られる。作業が遅いだけで(倉庫整理、20代男性)
- ・管理職と縁故関係にあるパートさんがデマを報告すると何も知らない管理職が鵜呑みにして事実確認もせず、簡単に労働者をクビにしていた。私もクビにされた。(医療機器の検品、30代女性)
- ・契約時間が守られなかった。当日や前日に急に休みになったり、仕事の終了時間が当日に決まって、稼ぎが安定しなくて計画がたたない。仕事できる人は仕事いれてもらえるけど、作業遅い人や社員に気に入られない人は「1ヵ月休んでください」とか。「明日から来なくていいです」と言われる。逆に気に入られる仕事がなくとも残業OKだったりして差がある。(倉庫作業、28歳女性)

日雇い派遣で働いた人の聞き取り(抜粋)

■22歳・男性(千葉)

ぜんそくで声が出なくて連絡ができなかったら登録が抹消された。この会社は交通費2000円以上じゃないと交通費が支給されない。こないだは1660円かかったけど1円もでなかった。交通費を浮かせるために、自宅から1時間くらいのところまでは自転車で行くようにしている。フォークリフトが合図なく前進してきて、足にぶつかったことがあるが、何の謝罪もなく、「フォークリフトが優先だ」と言われた。報告書も書いたけど反応なかった。俳優をやっていてそのついでで日雇いで働いている。でも20代後半になったら、俳優とか言っていられない。高校、大学の奨学金400万円を10月から返さないといけない。

■30代・男性(大阪)

つい最近まで正社員で働いていてやめたので、つなぎとして今は日雇い派遣にしている。前は正社員で健康食品の素材をつくらせている会社で働いていたけど、有給がないし、労災も認められなかった。誰か死んでもおかしくない。インフルエンザでも来いと言われたこともある。4年は僕も耐えたけど、もうやっていけないと思ってやめた。日雇い派遣は自由度は高いけど適当。いきなり「今日行けないですか」といってくる。夕方3時にかかってきて、「7時から行けないですか」と言われたこともある。派遣会社の人もいっぱいだと思うが、そのシステムそのものの破綻が働いている側から見られる気がする。

■27歳・男性(京都)

4年前くらいに、安定しているところになりたいと思って求人広告をみて電話した。でも、M製紙会社に電話したつもりが、派遣会社につながり、最初「受けつけを別の会社に行っているのかな?」と思ったけど、とりあえずそこで働くことにした。それで最初に派遣されたのが、M社の製紙工場。でも3ヵ月くらいでその工場が廃止になって、登録はそのままだったので、それ以来ずっと「日雇い派遣」で働いている。僕みたいに派遣に入りたくなくても派遣になるのはひどいと思う。

いまは何社に登録しているのかわからないくらい登録している。複数になるとスケジュール管理も大変だけど、自分で仕事を選びたいからそうしている。交通費自腹とかの場所はつらいし、自分である程度得意な作業とかできるところに行くようにしている。そうしないと損な仕事にばかり入ってしまっただけでは生活できない。

派遣先でぼろくそにいわれた経験もある。理由がないのに、相性があわなかったのか、一週間くらいで「そこにいてもいらないから」ときられた。

以上